

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

【防災の日アンケート】

第209回アンケート「2015年防災の日」
 アンケート実施期間 2015年8月31日～2015年9月30日
 モニター総数 286名（男性61名 女性225名）
 調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■アンケートまとめ

- 普段の生活で防災を「常に意識（12%）、なんとなく意識（46%）」「あまり意識していない（30%）、意識していない（12%）」
- 災害といえば、「地震（91%）」「台風（71%）」「洪水（55%）」
- 災害の心配「住む場所に不便（72%）」「電気やガスの不通（70%）」「断水（63%）」
- 災害に対する準備、「懐中電灯などの用意（42%）」「避難場所の確認（35%）」「非常持ち出し袋（33%）」
- スーパーや百貨店の防災フェア、「行ったことが無い（41%）」「知らなかった（29%）」
- 防災の情報・方法の入手、「テレビから（82%）」「ネットから（36%）」「自治体・町内会など（27%）」

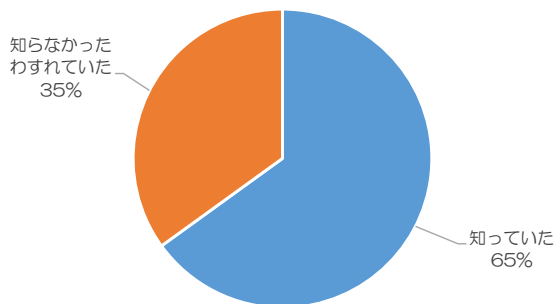
■アンケート項目

登録モニターの皆さんに、9月1日、防災の日になんで、防災の意識と準備に関してお聞きしました。*

■質問内容

- ①9月1日は防災の日です。知っていましたか？
- ②普段の生活で防災をどのように意識していますか？
- ③「災害」といえば思うのは何ですか？
- ④災害が起きた時、心配なことは何ですか？
- ⑤災害に対しての対策をしていますか？
- ⑥防災フェアに行ったことがありますか？
- ⑦防災に関するの情報や方法の入手先。
- ⑧防災について日ごろ気にしている事や、実践している事

■質問1 9月1日は防災の日です。知っていましたか？<単一選択 n=286>



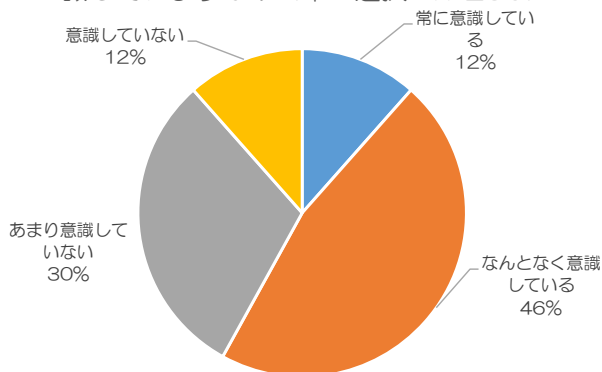
くらしくモニターの286名に、9月1日、防災の日に関してお聞きしました。

記念日「防災の日」を知っているかをお聞きしました。

- 知っていた（65%）
- 知らなかった、忘れていた（35%）

となりました。6割以上の方が、「防災の日」を知っていたと答えています。

■質問2 普段の生活で防災をどのように意識していますか？<単一選択 n=286>



普段の生活での防災の意識についてお聞きしました。

- 普段の生活で防災を
- 常に意識している（12%）
 - なんとなく、意識している（46%）
 - あまり意識していない（30%）
 - 意識していない（12%）

全体の46%の方が、「なんとなく意識している」3割の方が「あまり意識していない」と答えています。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

【防災の日アンケート】

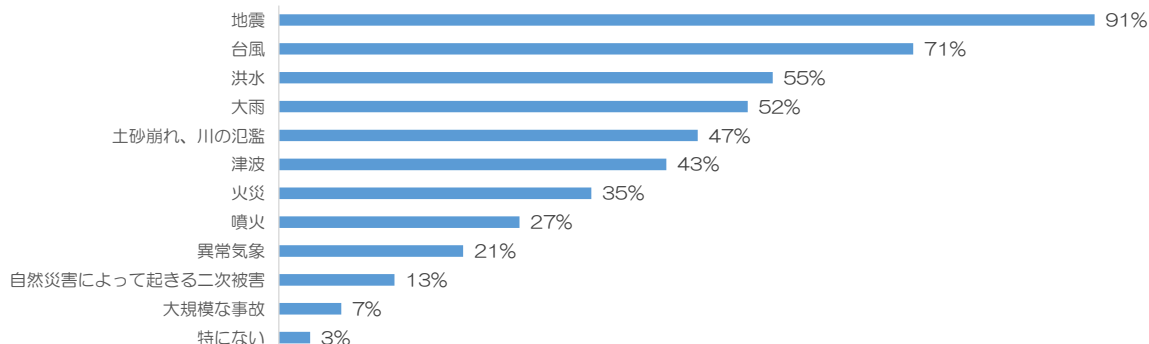
第209回アンケート「2015年防災の日」

アンケート実施期間 2015年8月31日～2015年9月30日

モニター総数 286名（男性61名 女性225名）

調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問3 「災害」といえば思うのは何ですか？



【その他の意見】

- ・原発事故(50代:女性) ・最近噴火のニュースが気になる(40代:男性)
- ・雪崩(70歳以上:男性) ・大雪、吹雪(30代:女性)
- ・暴風雪(40代:女性)
- ・北海道では大きな地震が無い、海沿いではないので津波などの心配をしたことが無いので台風くらいでしょうか(40代:男性)
- ・竜巻(40代:女性)

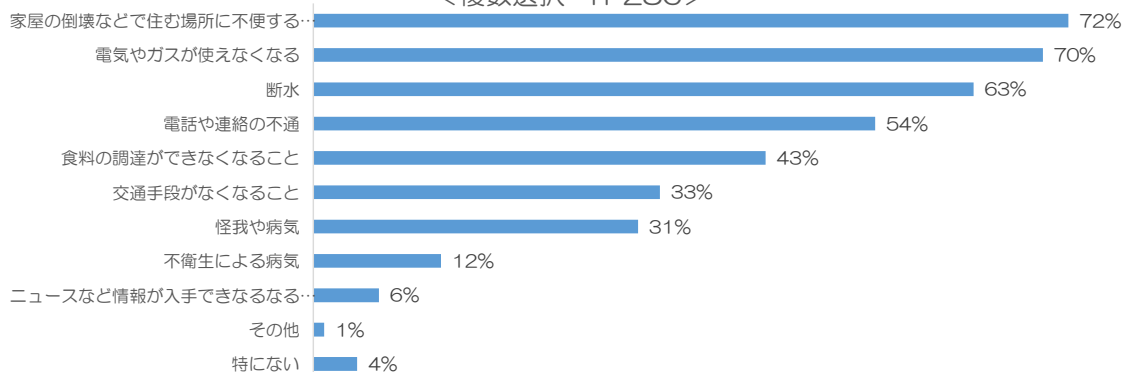
「災害」という言葉でイメージする事からについてお聞きました。

1位：地震（91%） 2位：台風（71%） 3位：洪水（55%） 4位：大雨（52%）

5位：土砂崩れ・川の氾濫（47%） となりました。 9割以上の方が「災害」といえば、台風をイメージする様です。

■質問4 災害が起きた時、心配なことは何ですか？

<複数選択 n=286>



【その他の意見】

- ・離れて暮らす家族の安否は気になります(40代:女性) ・子供の心身の安全(30代:女性)
- ・普段の暮らしができなくなる、北海道は降雪があるので心配(40代:男性)
- ・小さい子供がいるので、子供への対処(食べ物や休憩、寝る場所など)(40代:女性)
- ・車椅子生活なので行き場が無くなるのが困る(50代:女性) ・車が無く年寄がいるので移動が困難なこと。(50代:女性)
- ・下水道が機能しなくなることも心配。阪神大震災の時は避難所になった小学校のトイレが何人ものうちで山盛りになって、それを校長先生たちが掃除して・・・という話を聞きました。(40代:女性) ・ペットとの避難。猫を二匹飼っている。(40代:女性)

災害が起きたとき、心配な事をお聞きました。

1位：住む場所に不便すること（72%） 2位：電気やガスの不通（70%） 3位：断水（63%）

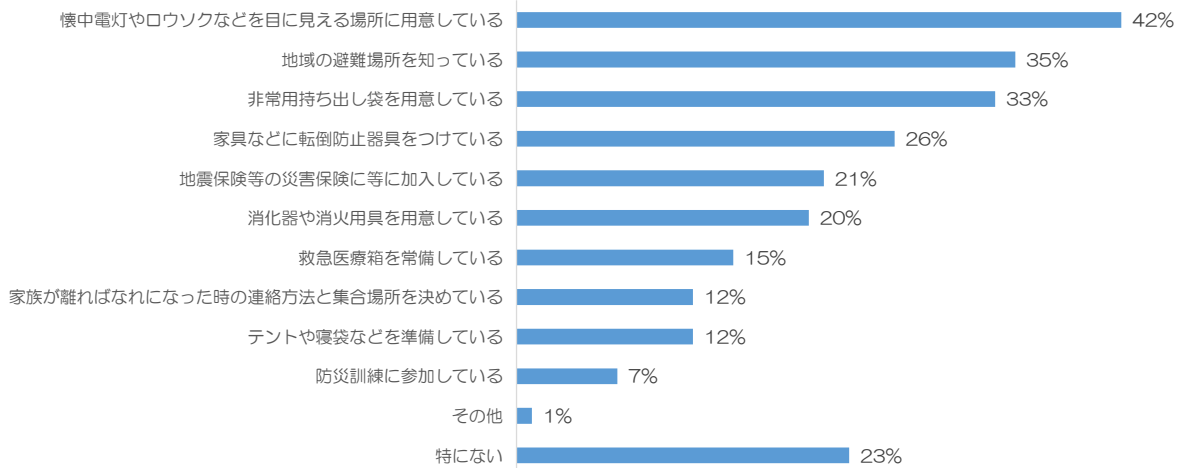
4位：電話や連絡の不通（54%） 5位：食料の調達（43%） でした。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

【防災の日アンケート】

第209回アンケート「2015年防災の日」
 アンケート実施期間 2015年8月31日～2015年9月30日
 モニター総数 286名（男性61名 女性225名）
 調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問5 災害に対するの対策をしていますか？ <複数選択 n=286>



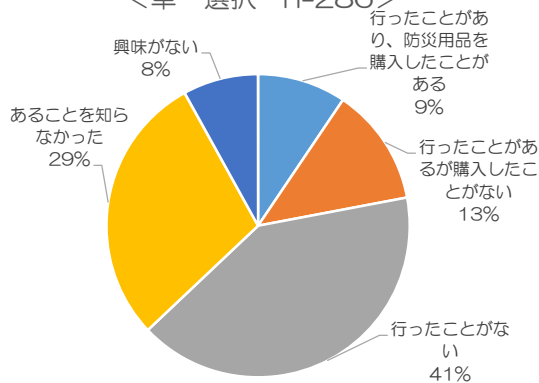
【その他の意見】

- ・あまり積極的には準備していない(40代:男性) ・ちゃんとしなければ、と思いつつ何もしていないのが現状です。(40代:女性)
- ・非常食品の確保(70歳以上:男性) ・近所の人と話をしておく(40代:女性)
- ・最低限の食料の備蓄(50代:女性)
- ・停電のことを考えて、あえてオール電化の住宅には住んでいません。ガソリン余裕を持って給油しています。(40代:女性)
- ・枕元にAM/FMラジオ、手動発電機、LED懐中電灯、非常用ブザー、携帯電話充電用コネクタがついた多機能目覚まし時計を常に置いています。(40代:女性)

災害の対しての対策やそなえについてお聞きしました。

- 1位：懐中電灯やろうそくの準備（42%） 2位：地域の避難場所を知っている（35%）
 3位：非常持ち出し袋の準備（33%） 4位：家具などに転倒防止器具をつけている（26%）
 5位：地震保険など火災保険に加入している（21%） でした。
 対策として、明かりの確保や避難場所の確認、非常持ち出し袋の準備などが上がっていますが、しかしながら、1位が全体の4割程となっており、半数を超えませんでした。

■質問6 スーパーや百貨店などで行っている防災フェアに行ったことがありますか？ <単一選択 n=286>



スーパーや百貨店などで、防災の日に行われている「防災フェア」に関して利用したことがあるかをお聞きしました。

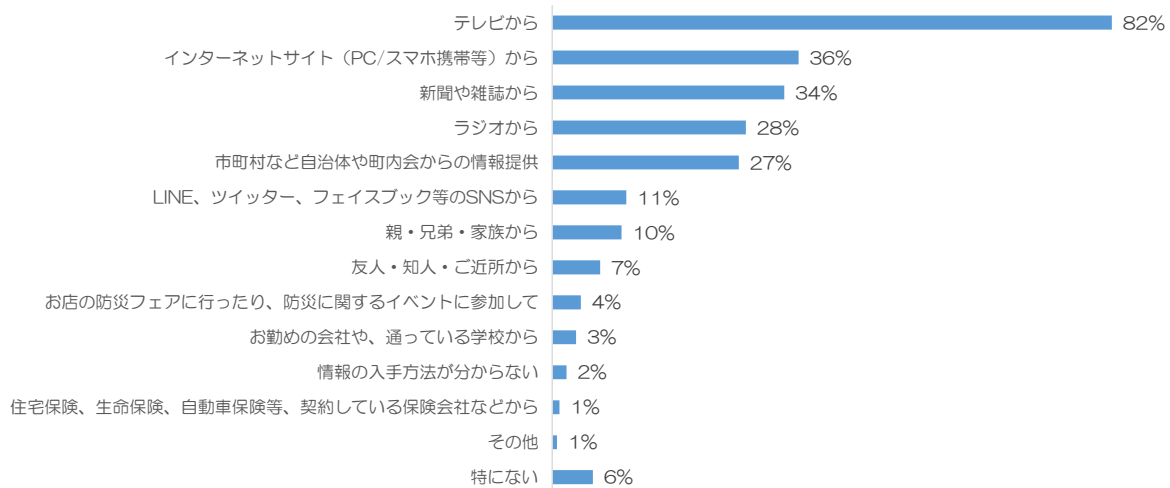
- 行ったことがある、防災用品を購入したことがある（9%）
- 行ったことがあるが購入したことが無い（13%）
- 行ったことが無い（41%）
- あることを知らなかった（29%）
- 興味がない（8%） でした。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

【防災の日アンケート】

第209回アンケート「2015年防災の日」
 アンケート実施期間 2015年8月31日～2015年9月30日
 モニター総数 286名（男性61名 女性225名）
 調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問7 防災に関する情報や方法を、普段どのように入手していますか？
 <複数選択 n=286>



防災についての情報などの入手方法をお聞きました。

1位：テレビから（82%） 2位：インターネットサイトから（36%） 3位：新聞・雑誌（34%）

4位：ラジオ（28%） 5位：地自治体や町内会などからの情報提供（27%） となりました。

媒体やインターネットなどでは、テレビが全体の8割以上と高く、それ以外は全体の3割程度となっています。

地域等の情報発信は「市町村など自治体や町内会（27%）」となっていて、3割以下の回答となっています。

■質問8 防災について日ごろ気にしている事や、実践している事が何かあればお書きください。（自由意見一部抜粋）

【意識が薄れている】

- ・震災以降意識が薄れているような気がする。（40代:男性:）
- ・意識はしているが具体的にどうしたらいいかわからない（30代:女性）
- ・何もしていません。しなきゃいけないとは思いつつ。（50代:女性）
- ・最近の天候不順で意識はしているのだから、実際には具体的に準備はしていない。東日本大震災から4年たって、原発に対しての意識はあるが地震災害に対しての意識なくなってきている気がする。（60代:男性:）
- ・特に何もしていないことが不安（40代:女性）

【家族との会話】

- ・たびたび夫婦で災害があったら...という会話をしている。（50代:女性）

【普段の生活から】

- ・普段からゴチャゴチャと寝室には物を置かない様にしています。何か有ったときに視界が悪い事も踏まえて... と言うのもありますが。本音としては寝室くらいはスッキリした空間にしたいから^^;（20代:女性）
- ・歩いて帰るための体づくり（20代:男性:）
- ・枕元に服やスリッパを置いています。（40代:女性）

【情報の入手】

- ・ニュース・天気予報を小まめにチェックする（40代:女性）
- ・地震情報をホームページに指定することで、地震が起こり得ることを常に意識するようにしています。（50代:女性）
- ・地震や河川の氾濫に対してどのように初動すべきか一度整理しているので、気付いた時に再確認している。（50代:女性）
- ・天気予報を必ずチェックして、危険な日は外出をひかえる。キャンプ用品を防災グッズとして備えている。（50代:女性）
- ・通学中に地震などがあった時の対処法を考えるようにしています。（30代:女性）

【地域で交流・情報交換】

- ・引っ越して間もなくから、町内会の草刈りやゴミ拾いに夫婦そろって積極的に参加して、近所の人たちと交流しています。そこで大雨（ゲリラ豪雨含）・台風・地震・空き家や防犯の情報交換をしています。（20代:男性:）

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

【防災の日アンケート】

第209回アンケート「2015年防災の日」
アンケート実施期間 2015年8月31日～2015年9月30日
モニター総数 286名（男性61名 女性225名）
調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問8続 防災について日ごろ気にしている事や、実践している事が何かあればお書きください。（自由意見一部抜粋）

【災害の準備】

- ・ライフラインが途絶えても数日食べていけるだけの水・食料などを備えている（40代:女性）
- ・リュックを手元に置き中身の期限切れチェックをしております。（40代:男性）
- ・飲料水と食料の備蓄（30代:女性）
- ・懐中電灯と水と非常食用のリッツを常備しています。（50代:男性）
- ・金銭に関するものはいつでも持ち出せるようにしてる（保険証など）（50代:女性）
- ・訓練に参加（30代:女性）
- ・水、インスタント食品はいつも常備している。懐中電灯も電池を確認の上常備している。（20代:女性）
- ・水とお米、乾麺をローリングストックしています。お風呂の残り湯は捨てずに貯めてあります（40代:女性）
- ・水の保存。お風呂の水は取っておく（50代:女性）
- ・定期的な、防災グッズの見直し。（30代:女性）
- ・非常持ち出し袋や貴重品をまとめている（30代:女性）

【非常食の賞味期限の確認】

- ・非常食の期限を見たり、買い足したりしている。（40代:男性）
- ・賞味期間を気にして、ちゃんと交換や買い足しをすること。（40代:男性）
- ・食料は毎年買い替えています（40代:女性）
- ・水や食料の備蓄は、賞味期限もチェックしながら3か月に1度入れ替えをしている（50代:女性）
- ・非常用の食べ物や水を用意していても、期限切れにならないようにたまにチェックする（20代:女性）
- ・備蓄している缶詰の賞味期限がきれていないか、定期的に確認しています（50代:女性）

【避難先の確認】

- ・家族で落ち合う場所を決めている（30代:女性）
- ・家族との連絡方法は決めている。（40代:女性）
- ・会社から、自宅までの徒歩経路を知らなきやと思いつつ調べてません。（30代:女性）
- ・子供がまだ小さいので、オムツの調達や一時的とはいえ集団生活になった時の対処法などが気になります。（50代:女性）

【防災準備】

- ・家具や家電に転倒防止シートを使っています。（40代:男性）

【災害の経験】

- ・今まで、何となく済んでしまったので、特に準備はしていませんが、去年の山梨の大雪災害の時には、1週間くらい買い物にも行けませんでした。普段から、乾物やレトルト食品、冷凍食品などを多めに買っていたので、何とか過ごすことができました。東北大震災の時には計画停電もあって、照明が困ったので、懐中電灯はリビングの目立つところにいつもおいてあります。（30代:女性）
- ・阪神大震災を経験しているので何が必要かはわかっているが備えができていない。防災の日をきっかけに見直さなきゃいけないと感じた。ラジオ付きの懐中電灯だけは身近な場所に用意してあります。（40代:男性）
- ・夜中に地震があった時に、隣で眠る娘をどう守るか、身体を挺して守るシュミレーションを毎晩している。以前、淡路島震源の大きな地震の時に実践でき、娘を守りぬくことが出来た！（20代:女性）

【その他】

- ・足元を見ているのか、防災用品って高いと思いませんか？（40代:女性）
- ・食料や、持ち出し袋の中身を点検するのに、防災の日はいききっかけになる。防災用具ばかり買うと、とんでもない金額になるので、少しずつ集めている。（30代:男性）
- ・来るなら来いの覚悟でとにかく命だけを守る。逃げるが勝ちの精神です。（40代:女性）
- ・マンションなので、エレベーターが、乗っている時に止まったらと思うと怖い。奈良に住んでいるため、津波の心配がないのが幸い、大きな川もないし、建物の倒壊が怖い。（40代:男性）

たくさんのご意見ありがとうございました。

防災の日にちなんで、防災の意識に関してアンケートをお願いしました。

7割近い方が、日頃防災に関して意識をして生活をしているようですが、具体的な対策を行っている方は、「懐中電灯やロウソクの準備など」最大で42%となっていて、なかなか実践されていないようです。

自由回答では、備蓄している食品や飲料の賞味期限に対する意見や、防災用品の値段が高い等の意見がありました。

調査集計：株式会社オミセネット url:<http://omisenet.com> mail :info@omisenet.com